



琵琶湖岸に侵入した  
 特定外来種オオバナミズキンバイの  
 拡大予測と効果的防除に関する  
 シンポジウム

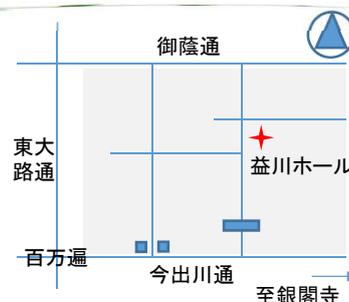
参加  
 無料

琵琶湖岸にオオバナミズキンバイが侵入してから10年がたちます。2009年に琵琶湖に侵入し、瞬く間に琵琶湖岸で2番目に優占する植物となりました。これに対応するため2018年に始まった本課題では、琵琶湖岸にてオオバナミズキンバイが繁茂する場所をおおよそ推定することが可能になりました。また、水鳥の糞からオオバナミズキンバイの種子が発見されました。これは世界で初めての発見となりました。さらに、刈り取った後のオオバナミズキンバイを短時間で減容化できる技術の開発状況についても、わかりやすくご報告いたします。

場所：京都大学北部総合研究棟1F 益川ホール

日時：2019年5月26日（日）13:30 ～ 15:30

主催：京都大学地球環境学堂 共催：(独)環境再生保全機構



13:00 ～ 受付開始

13:30 ～ ポテンシャルハビタットマップを駆使した効果的駆除方法の開発  
 京都大学 地球環境学堂 田中周平

14:00 ～ 鳥類が行う種子散布・断片散布による拡大可能性の検討  
 滋賀県立大学 野間直彦

14:30 ～ 高温好気発酵分解技術による減容化と有効利用法の検討  
 日本クニヤ株式会社 徳岡誠人

15:05 ～ 総合討論

先着170名まで（残席がある場合は当日参加受付可能）

参加ご希望の方は、事前に E-mail ( [oobana.sympto@gmail.com](mailto:oobana.sympto@gmail.com) )にてお申し込み下さい。  
 下記のメールアドレスあてに、件名「参加申込」とし、ご氏名、ご所属をご記入ください。